

学校経営の基本方針

1 学校運営方針

県教育基本方針，市教育大綱，県学校教育の方針と重点，仙台管内学校教育の重点と努力点を受けて学校運営を行う。

2 学校教育目標

「認め合い，学び合い，高め合う児童の育成」

(1) こういう子どもに育てたい <めざす児童像> 合言葉は「お・か・げ」

<思いやる子> 【徳】 友達の気持ちも考えて行動できる子ども

<考える子> 【知】 よく考えて，進んで取り組み，解決できる子ども

<元気な子> 【体】 体も心もたくましい子ども

(2) こういう学校をめざしたい 「夢を語り合う“居がい”と“来がい”のある学校」

- ① 明るい挨拶がとびかう和やかな学校
- ② 児童一人一人の生命の安全に努める学校
- ③ 真剣で主体的な学習が行われる楽しい学校
- ④ 児童一人一人を生かした教育活動の創造と推進が見える学校
- ⑤ 保護者，地域との信頼関係が深い学校

(3) こういう教師でありたい 「子どもと共に歩み，心を耕す教師」

- ① 分かる授業づくりと学ぶ楽しさを教えることに努める教師
- ② 心身ともに健康で人間味のあふれる教師
- ③ 教員としての専門性に富み，常に指導力の向上を目指す教師
- ④ 情熱と“志”の精神を持つ教師

(4) こういう職員室でありたい 「和やかさと厳しさがある職員室」

- ① 情報が共有され，報告・連絡・相談＋確認まで行える職員室
- ② 子どもの話題があふれている職員室
- ③ 学習指導や生徒指導などについて気軽に話し合える職員室

3 学校経営方針

(1) 職員一人一人の創造的・建設的な英知を結集し，共通理解と協力体制の確立を図りながら，創意と活力に満ちた学校経営を推進する。

(2) 教育目標の具現・達成のために「めざす子ども像」「めざす学校像」「めざす教師像」に迫るべく，全職員が心を一にし，経営への参画意識を持って教育実践に努める。

4 重点目標

(1) 学習指導と生徒指導の共通性を踏まえ，児童理解を基盤とした指導の推進

- ・子ども理解を大切にし，授業力，生徒指導力の向上に努める
- ・“居がい”と“来がい”のある学級，学年づくりに努める

(2) 課題の共有化と共通行動（共通性のある指導）

- ・報告・連絡・相談・確認を密にした教育活動を展開し，生徒指導面での初期対応を丁寧に適切に行う
- ・学年主任者会を核として，学校課題等に対して共通行動をとり組織力を高める

(3) 主任者層の指導性の発揮と学校全体での連携による指導体制の強化

- ・学年主任のリーダーシップの発揮による学年経営と学年研修の充実を図る。
- ・現職教育計画を基にした校内研究の推進と，初任者研修等を生かし，授業提供による実践的な指導力の向上を目指す。

28年度重点目標のキーワード

新たな不登校・不登校傾向を生まない

- 居がいと来がいのある学校
- 子ども理解、授業力、生徒指導力
- 報告、連絡、相談、確認

共通性のある指導・共通行動
(学年、学年部、協力学級)

5 重点努力事項

(1) 生徒指導 ～思いやりの心を育て、豊かな人間関係を醸成する生徒指導の推進～

- ・きまりをしっかりと守る子どもを育てる。
- 「よい子のくらし」の活用、振り返りの時間の設定、きまりを守っている子を褒める。
- ・いじめアンケートの結果について情報を共有し、指導に生かす。
- アンケート結果を生徒指導部会で確認し情報交換を行う。打合せ等で共有を図る。

(2) 学習指導 ～基礎・基本を重視し、一人一人に確かな学力をつけると共に進んで学習する児童の育成～

- ・「学力向上に向けて5つの提言」を意識した授業作りを実践し、校内研修で検証を図る。
- ・スキルタイムの充実
- ・「家庭学習の手引き」を活用した学習習慣の確立
- スキルタイムの時間、内容を研究推進委員会で決める。
- 家庭学習の手引きを活用した本読みカードを作成する。
- 自主学習の取組例を子どものノートで紹介する。

(3) 特別活動 ～児童の考えも生かし、感動があり思い出に残る活動の創造～

- ・委員会活動による自主的活動の推進
- ・学級での話合い活動の充実
- 委員会の活動の成果が目に見えるような活動を取り入れる。
- 毎年、同じ活動ではなく、児童の思いを引き出す。
- 話合いの仕方、進め方等の資料の整備と実践

(4) 安心・安全な教育環境 ～子どもの心が安らぐ教育環境の整備～

- ① 清掃活動の充実 「黙々清掃、丁寧、協力、振り返り」
- ② 防災訓練や交通安全指導等を重視した防災安全教育の充実
- ③ スクールガードリーダー・安全サポーターの方々との連携による登下校時の安全指導の強化

(5) 保護者・地域との連携 ～コミュニケーションづくりによる信頼関係の構築～

- ① 家庭や地域等と連携した教育活動の推進
 - しおがま「ふれあい運動」の推進
 - ・学期ごとに【わたしのチャレンジ】の定着度を振り返り、家庭に相談・調整を依頼する
 - ・フリー参観、学習参観及び各学期末の学級・学年懇談の充実
 - ・学校だよりや学年・学級だより、行事等を生かした家庭や地域への情報発信
- ② 幼保小中連携の推進 **※特に中1不登校の解消に向けた取組を大切にしてい**
 - 三中との児童生徒理解のための情報交換会の実施（随時：必要時に調整開催）
 - 三中、三小の相互の授業参観や授業体験の実施
 - ・幼稚園、保育所（園）職員の学校参観（1年生）の呼び掛けと受け入れ
 - ・行事、指導主事訪問、校内授業研究の案内と参観の呼び掛け